

指標	算出式	用語解説
経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	料金収入や一般会計からの繰入金等で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度まかなえているかを表す指標。黒字を示す100%以上となることが求められ、100%未満の場合、経営改善に向けた努力が必要となる。
累積欠損金比率	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益 - 受託工事収益}} \times 100$	営業収益に対する累積欠損金(活動より生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補てんできず累積した損失)の状況を表す指標。
供給単価	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}} \times 100$	水道料金の対象となった水量1m ³ あたりで得られる給水収益。
給水原価	$\frac{\text{経常費用 - (受託工事費 + 材料及び不用品売却原価 + 附帯事業費) - 長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}} \times 100$	有収水量1m ³ あたりどれだけの費用を要しているか示す指標。経年比較や類似団体との比較から、自団体の置かれる状況を把握・分析し適切な数値であることを説明できることが求められる。
料金回収率	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	給水に係る費用が、どの程度収益でまかなえているかを表す指標。100%を下回る場合、給水に係る費用を給水以外の収入でまかなう状態であることを示し、適切な料金水準の確保、費用削減等の対応が求められる。
有収率	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標。100%に近いほど施設の稼働状況が収益に反映されているといえる。数値が低い場合には漏水やメーター不感といった原因を特定し、対策をとることが求められる。